

| | |
|-----------|--|
| 科目名 | 言語教育の基本Ⅰ（教授法） |
| 授業の目標・ねらい | 学習者や学習目的に合わせたコースをデザインや、効果的な教授を考えます。そのために、さまざまな教授法の特徴を理解し、実践に活かせる教授技法の習得を目指します。 |
| 授業内容・授業方法 | <p>学習者のニーズやレディネスを分析し、コースをデザインすることを概観します。また、主な教授法の特徴を学び、学習者に合った教授法を選択し、実践に取り入れていく方法を考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースデザイン・シラバスデザインについて ・学習者のニーズと教授法 ・教育実践のための教授技法 |
| 予習・復習 | 今まで自分が経験した語学学習を振り返り、授業や課題がどのようなデザインされていたかを考えてきてください。受講後は、さまざまな教授法が教育実践の現場でどのように具体化されているかや、教科書・教材の特性を分析してみてください。 |
| 使用テキスト | |
| 参考書等 | 荒川洋平(2021)『日本語教育のミカタ ―対話で具体的に学ぶ新しい教科書―(第2版)』凡人社 |
| 講師名 | 尾沼玄也 |
| 所属 | 拓殖大学国際学部 |
| 研究分野 | 日本語教育、日本語学 |
| 講師紹介 | 日本語学習者のための辞書を開発したり、職業としての日本語教師が社会にどのように位置づけられているかなどを研究したりしています。これまでオーストラリア、マレーシア、インドネシア、日本国内で日本語教育に携わってきました。 |